

豊かな自然環境を活用した体力向上の取組 ～遊び心や冒険心を高める工夫～

山口県田布施町立
たぶせにし
田布施西小学校
全校児童数214名
(男子116名 女子98名)

実践内容

実施目的

- ①遊び場（空間）、運動時間、遊び仲間の「3つの間」を構築することで、運動の日常化を図ると共に、運動に親しみ運動が好きな子どもを育てる。
- ②学校林を整備したり、身近な自然とふれあわせたりすることによって、遊び場や方法を豊かにし、子どもの遊び心や冒険心を高め、社会性の伸長を図る。
- ③保護者の協力、地域の人材や自然環境の活用、行政の支援などに配慮して連携を深めることによって、子どもの見守り意識を高め、支援環境を拡大する。

実施内容

1 遊び環境の創造～遊び場（空間）について

(1) 学校林の活用

- ①樹木や斜面を利用した遊び場を整備～ターザンロープ、わくわくつり橋、ロープ登り他
- ②子どもたち自身で遊び場を作る～竹ブランコ、草すべり、探険道づくり、斜面のぼり、靴滑り他
- ③駅伝大会等への体力強化練習に活用
- ④自然の恵みに感謝しふれあう～春の筍掘り、秋の木の实遊びやドングリ拾い他

(2) ふれあい田の活用

- ①「生き物調べ」1・2年生が生活科で、しろかき前の田んぼにいる生き物を調べます。
- ②「どろんこ祭り」3・4年生が、田植え前に泥乗りサーフィンリレーやフライングディスクキャッチ等の活動をし、泥の感触を楽しみます。

(3) 遊具・運動場の活用

- ①遊具と親しむ～低学年からブランコ、雲梯、ジャングルジム、登り棒等の遊具に親しみ、遊びを通して基礎的な体力を身に付けます。
- ②2人組の運動に取り組む～あひる歩き、くも歩き、片足けんけんで「体ほぐし」等で筋力向上を図ります。

③玉タオル投げや赤白玉を使った遊びで投力を高めます。

2 教育活動の工夫～「時間」「仲間」について

(1) 意図的な活動機会の工夫

- ①学級遊び、なかよし班遊び、学年遊び等による年齢構成の工夫により、多様な人間関係を構築します。
- ②米作りや大豆作り、サツマイモの苗植え等による豊かな体験交流活動を推進する中で、食べ物を栽培する興味や苦労を実感したり、地域の方や高校生との共働の喜びや感謝の心を深めます。

(2) 身近な環境を活用した活動の工夫

- ①特別活動～ウォークラリー、竹馬遊び、川遊び、カヌー体験、史跡見学ウォーキング
- ②放課後～ランニング（学校林ランニングコース、川沿いランニングコース）

3 家庭・地域などとの連携の強化（支援環境の拡大）

- ①保護者、地域～遊具の設置・点検・補修、遊び場の整備、除草作業、協同活動など
- ②行政、校種間～放課後子ども教室、青少年健全育成事業、小・高連携事業、出前講座など

4 保護者への体力向上活動の啓発

(1) 「NISHIスポーツだより」の発行

運動会、体力向上の取組、駅伝練習等を紹介しています。子どもの体力づくりへの関心と、よりよい親子関係の構築、運動の習慣化を意図しています（2012年2月時点で第14号まで発行）。

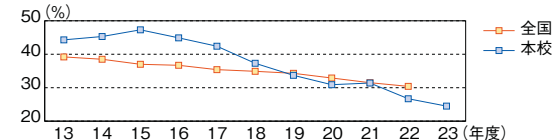
実施上で工夫したこと

- ①地域のよさを生かしつつ運動へのわくわく感醸成。
- ②体力テストの低ポイント種目の重点化実践。
- ③教科や特活などと横断的な活動を展開し、知徳体のバランスに配慮した総合体力づくり。

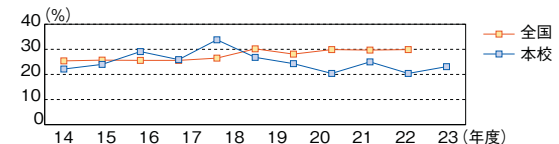
主な成果

- ①休憩時間に、運動場や学校林など戸外で遊ぶ児童の割合が高くなり、多様な遊びに加わるようになりました。
- ②学校行事や環境整備活動に、保護者や地域の方々の参加が増加し、連携の強化が進みました。
例：おやじの会発足、地域来校者（ゲストティーチャー他）の増加、PTA活動の充実
- ③視力低下者や永久歯の未処置者の割合が着実に減少しつつあります。体や健康意識の高まりに手応えが感じられます。

●虫歯のある人の割合の変化



●視力1.0未満の人の割合の変化





ターザンロープ

おやじの会による製作!力UP!スリル満点!



どろんこリレー

興味・関心の高まり、そして気力・精神力!



稲わらへジャンプ

土のにおい、わらのかおり、ふるさとで遊ぶ



わくわくつり橋

バランス感覚を養うのに最適!



ぼくたちの学校林

「今日も一緒に登ろう」を合い言葉に!

